

カーボンレポート

東京都低炭素ビル実績表示

この書面は、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく「地球温暖化対策報告書」(都内の中小規模事業所を対象)により東京都に報告したCO₂排出量の実績等を、地球温暖化対策指針に基づいて表示するものです。

No.A0670-0001

報告書提出
事業者名

株式会社ミヤデラ

事業所名

ミヤデラビル

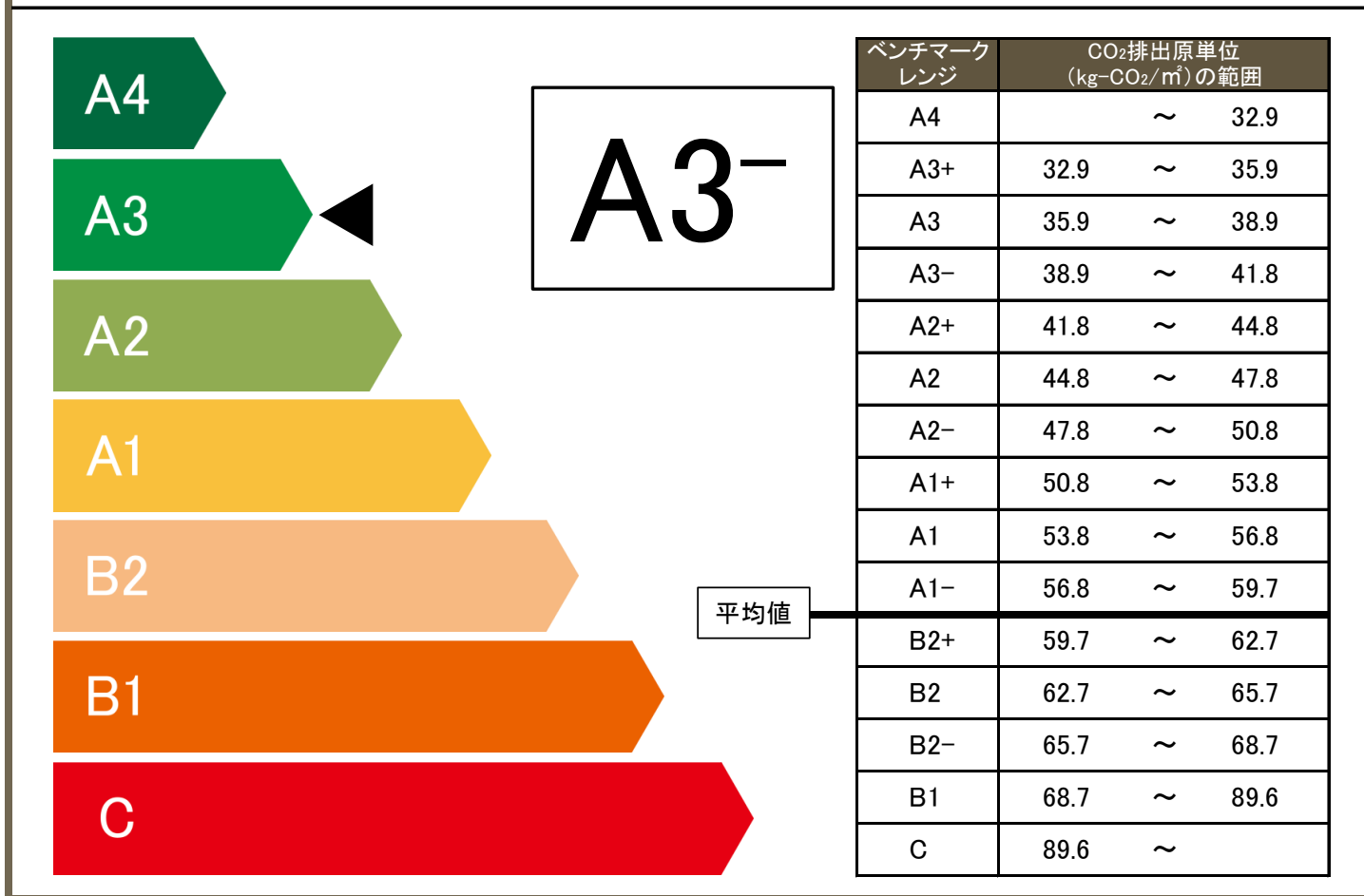
住所

東京都品川区南品川5-3-10



実績年度	年間CO ₂ 排出量	延床面積	CO ₂ 排出原単位 (延床面積当たりの年間CO ₂ 排出量)	主たる用途
2013 年	128 t	3156.95 m ²	40.2 kg-CO ₂ /m ²	事務所

ベンチマーク区分:テナントビル(オフィス系、中規模)



※ベンチマークは、都内の中小規模事業所のCO₂排出水準(CO₂排出原単位の水準)を15段階で示す指標です。(詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)を参照)

※CO₂排出水準は、ビル側の地球温暖化の対策の推進状況だけでなく、ビルの稼働状況や入居者の取組等の影響を含むものです。

※本書面の記載内容は、第三者の検証を受けたものとは限りません。また、報告書提出事業者の事業所範囲についての内容であるため、区分所有等の場合、基本的にビル全体の内容と一致しません。共有の場合は、持分割合に応じたものとなっています。

◆ 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策	その他対策
	対策名	対策名
組 織 体 制 の 整 備	地球温暖化対策の方針等の設定	温暖化対策推進担当の配置
	組織横断的な推進体制の整備	具体的な取組目標と内容の設定
	テナントへの温暖化対策協力依頼	取組状況の点検体制の構築
		ビル全体の推進体制の整備
エ ネ ル ギ ー 等 の 使用状況の把握	過去のデータによる傾向の把握	自ら入手可能な情報に基づく把握
		設備ごとに詳細に把握
		エネルギー使用量の前年度比較
運 用 対 策	昼休み時の消灯の実施	空室・不在時等のこまめな消灯
	中間期における外気冷房の実施	照明スイッチに点灯範囲を表示
	温湿度の適正管理	採光を利用した消灯の実施
	事務用機器を業務終了時に停止	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		空調機スイッチに空調範囲を表示
		温度計等による室温の把握と調整
		季節に応じた外気導入量の適正化
		事務用機器を省エネモードに設定
		個人用端末の不用・離席時の停止
設 備 保 守 対 策	ランプ等の定期的な清掃・交換	空調フィルターの清掃・点検
	換気フィルターの清掃・点検	その他設備の定期的な保守・点検
設 備 導 入 対 策	高効率照明器具の採用(屋内)	高効率照明ランプの採用(屋内)
	高効率パッケージの採用	高輝度誘導灯の導入
		照明点灯範囲の細分化
		高効率変圧器への更新・台数集約

上記は、本事業所が実績年度に実施した対策です。

◆ 補足説明(自由記入)

■建物概要
竣工：1990年8月 地上8階地下1階
■省エネ改修実施(東京都助成制度)
高効率空調パッケージ設備への更新
高効率変圧器への設備更新
高効率照明器具(LED)の導入
高輝度型誘導灯の導入

◆ 注記

ビルのCO₂排出原単位(延床面積当りの年間CO₂排出量)は、ビルの断熱性能、設備・機器のエネルギー効率及び運用・保守管理状況を、総合的に示すビルの省エネルギー指標です。東京都が提供するベンチマークは、中小ビルのCO₂排出原単位の平均値を用途別・規模別に示しており、その平均値から個々のビルのCO₂排出原単位がどの程度離れているかをみることで、当該ビルの低炭素レベル(省エネ性能)を評価することができます。

なお、ビルのCO₂排出原単位は、空室率、駐車場や電算室の有無、稼働時間、入居テナントの種類や入居テナントのエネルギーの使い方等によっても影響を受けます。ベンチマークは、こうした様々な要因も含まれた平均値を示していますが、省エネの取組以外の要因が著しく大きい等の場合、評価者は、これらの要因がどの程度、CO₂排出原単位に影響を与えているかを考慮する必要があります。詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)をご参照ください。